CMD（コースメディカルディレクター）認定制度

項目	資格条件①（インストラクター経由）	資格条件②（e-learning経由）
流れ	① 1回目:キャンディデイトとして参加 ② 2回目:インストラクターとして参加→マスター推薦を受ける（マスター推薦書） ③ ②)と 並行してコースCMDからCMD推薦を受ける（CMD推薦書） ③ CMD認定	① オブザーバーでコースに参加 ② コースCMDから推薦（CMD推薦書） ③ e-learning受講 ④ CMD認定後→インストラクター参加→マスターインスト取得
申請期限	—	オブザーバー参加から2年後の年度末まで
追加要件（いずれか）	ア．循環器専門医または救急科専門医 イ．PACC検討小委員会委員の医師 ウ．CMDの推薦があり、委員会で承認された者	ア．循環器専門医または救急科専門医 イ．PACC検討小委員会委員の医師 ウ．CMDの推薦があり、委員会で承認された者
認定後	マスター資格とCMDが統合	CMDの有効期間内にマスター取得が必須（キャンディデイトを飛ばしインストラクターから開始可）。マスター取得後はCMDに統合
有効期間	認定日から2年後の年度末	認定日から2年後の年度末
更新条件	講義2回以上	1回目：講義2回以上＋マスター資格 2回目以降：講義2回以上
失効時の復帰ルート	コースCCに復帰申請 → インストラクター1回（マスター復帰） → 2回目のコースで講義1回（CMD復帰、2年後の年度末まで） ※各推薦書不要。 ※失効前であれば１年間の延長申請が可能	資格条件①に準ずる

講義実績の数え方

・講義の分野（モニター、12誘導、身体所見、心不全）は問わない
・複数分野を担当しても1コースで1実績
・午後のシナリオでのブース指導は、インストラクター制度の指導実績として1カウント（ルート①の場合）
・マスター取得後は、CMDを更新すればマスターも自動更新される